

# 市長報告

令和6年第3回古河市議会定例会の開催にあたり、古河市の主要な施策及び事業の執行状況等について、ご報告いたします。

## (はじめに)

本年も国内各地において豪雨災害が発生しております。7月25日から26日にかけて、秋田県及び山形県では記録的な豪雨により、甚大な被害が発生しました。また、山形県では救助要請で出動した警察官2名が殉職されました。先週からは、速度の遅い台風10号による記録的な豪雨により、国内各地で土砂災害等が発生したところです。亡くなられた方のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧を願っております。

災害はいつどこで発生するか分かりません。これから台風や秋雨の時期となります。市民の安心・安全を守るため、常に危機感をもって準備し、災害に対処してまいります。

8月3日には5年ぶりとなる第19回古河花火大会を開催しました。約20万人が来場し、絶え間のない歓声の中、壮大なスケールの三尺玉が古河の夜空に咲きました。改めまして、ご協賛いただいた多くの皆さまに感謝を申し上げます。コロナ禍以前の活気が戻ってきたことをうれしく思うとともに、市民の皆さまがいかに花火大会を待ち望んでいたのかを実感しました。

それでは、以下、第2次古河市総合計画の施策体系に沿って、主要な施

策等の実施状況及び進捗状況について、ご報告させていただきます。

## 1 市民協働について

SDGs の推進について、国際交流及び多文化共生等の取組を一層加速させるため、6月26日に JICA 筑波と連携覚書を改めて締結しました。両者の連携により相乗効果を発揮し、SDGs 未来都市として掲げる「誰一人取り残さない包摂社会とゼロカーボンシティの古河（まち）」の実現を目指します。

7月20日から21日にかけて、大野市の市制70周年をお祝いするとともに、両市の交流を深めるため、「結の故郷（くに）越前おおの 姉妹都市交流の旅」を実施しました。私を含めた市民43人が訪問し、両市の歴史的なつながりについて学ぶとともに、「天空の城 越前大野城」の見学や「日本一美しい星空 六呂師高原」での星空観察等を行いました。

8月2日から4日にかけて、真室川町の小学生を招き、「歴史で結ぶ真室川町と古河市との少年少女の集い」を実施しました。真室川町での豪雨災害を乗り越え、両市町から参加した小学5年生・6年生の60人が、鮭延寺参拝や古河花火大会の鑑賞等を通じて、歴史がつなぐ絆と友情を深めました。

8月2日に開催した人権教育講演会では、古河中等教育学校の生徒2人による同性婚をテーマとした研究の発表と、一般社団法人 JCMA 代表理事吉井奈々さんから自身の体験に基づく LGBTQ についての講演をいただきました。参加者191人と共に、多様性社会について理解を深め、人権尊重の意識向上を図ることができました。

9月25日から10月4日にかけて、市民参加のまちづくりを目的に、「市長と語ろう まちづくり」を全7回開催します。「『華のある都市（まち）古河』の実現に向けて」をテーマに、これまで蒔いた種を花として咲かせるまちづくりについて、市民の皆さまと意見交換を行います。なお、今年度は5月にオープンした「駅前シェアオフィス COKOGA OFFICE」においても開催します。

## 2 健康福祉について

「古河市こども計画」の策定について、7月にこども、保護者及び若年者を対象にグループインタビューを実施しました。子育ての当事者やこれからの社会を担う若い世代からの生の声を、今後のこども政策に反映していきます。

7月20日に開催した児童発達支援講演会では、児童発達支援に関わる市民等84人が参加しました。講演会では、インクルーシブ保育を実践する社会福祉法人どろんこ会から講師を招き、障がいの有無にかかわらず全てのこどもが共に育つための環境づくりについて学び、児童発達支援への一層の理解を深めました。

带状疱疹ワクチンについては、4月から接種費用を助成しており、7月末現在656回分を助成しました。带状疱疹は、重症化により後遺症が残るおそれがあることから、発症の予防効果が期待できるワクチン接種を引き続き推進します。

高齢者の外出支援を目的に、タクシー運賃の一部を助成する「ふくとく・チケット」を交付しています。これから徐々に暑さが和らぐ季節とな

りますので、高齢者の方には本チケットをご活用いただき、社会活動に参加いただければと考えております。

物価高騰対策として実施する定額減税調整給付金については、8月から給付を開始しました。

### 3 教育文化について

子育て世帯への経済的支援を目的に、4月から小中学校の給食費を無償化しました。また、市外へ通学する児童生徒や、食物アレルギー等の理由で給食の提供を受けていない児童生徒の支援については、必要な補正予算案を本定例会に上程しています。

総和地域交流センターについては、先の議会において工事契約に係る議案を可決いただき、建築工事がはじまりました。令和7年12月の開館を目指し、安全に十分配慮しながら、施設整備を進めます。

(仮称)古河市新公会堂については、多様なご意見をいただくため、昨年度から市民や中高生を対象にワークショップを全7回開催し、延べ166人が参加しました。また、7月29日には市民委員による白河文化交流館コミネスへの先進地視察も行いました。引き続き施設の役割や機能を整理し、基本構想及び基本計画の策定に取り組みます。

6月から古河公方公園のパークフロント駐車場において、グラウンドゴルフがご利用できるようになりました。誰もが健康で活躍できるまちづくりに向け、生涯スポーツを推進していきます。

6月9日にプロ野球チーム「茨城アストロプラネッツ」の公式戦が「古河市DAY」としてヨシダスタジアムで開催され、517人が観戦しました。

昨年度から「こがでくらすと野球が楽しい」をキャッチコピーに特別企画を実施しており、今回は選手カードとジャパンフリーストレ株式会社の協賛によるポップコーンを来場者にプレゼントしました。今後も市民がプロスポーツに触れる機会を提供していきます。

#### 4 産業労働について

冒頭申し上げたとおり、8月3日に第19回古河花火大会を開催しました。古河の夏を代表するイベントを盛大に開催でき、市民の皆さまの大きな期待に応えられたものと思っております。また、翌日の河川敷清掃には市民をはじめ企業・団体等から多数の方にご参加いただきました。市民とともに作り上げる花火大会は、古河の大きな誇りであると感じています。

10月からは秋の三大祭りである「古河関東ド・マンナカ祭り」、「さんさんまつり」及び「古河よかんべまつり」が開催されます。関係者のご協力のもと、今後も地域をさらに盛り上げていきます。

道の駅「まくらがの里こが」については、6月29日に大型遊具とウッドデッキのオープニングセレモニーを開催し、完成を待ち望んでいた多くの来場者で盛り上がりました。現在、さらに多くの人に足を運んでもらえるよう、名物となる地場産品の開発を進めています。今後も賑わい拠点として、来場者の増加を目指します。

持続的な地域経済を目指すため、古河商工会議所や古河市商工会等と連携し、創業支援及び事業承継支援に取り組んでいます。8月26日には関係機関とのキックオフミーティングを実施し、課題等を共有しました。地域経済の課題解決に向けてネットワークを構築し、創業者等の目線に

あった支援を行っていきます。

## 5 生活環境について

6月30日にゴヨーふれあいスポーツセンターをメイン会場に、市民及び関係機関等590人の参加のもと、古河市地域防災訓練を実施しました。水害緊迫時における浸水想定区域からの避難を想定し、バスによる避難行動要支援者の避難や自家用車による避難、避難所開設・運営等の訓練を行いました。

また、8月7日には水害を想定した災害対策本部図上訓練を実施しました。地球温暖化もあり、わが国では毎年のように豪雨災害が発生しています。災害への備えに万全を期すことで、市民の生命及び財産を守ります。

7月7日に古河市イーエス中央運動公園において、古河市消防ポンプ操法練習会を開催しました。練習会では、消防団員が迅速、確実かつ安全に活動するための消防用機械器具の操作方法を確認するとともに、日頃の訓練の成果を披露しました。

カーボンニュートラルの推進については、「押しかけ講座」を小学校に拡大し、小中学校全32校で実施しています。小学生向けの講座では、クイズ形式で地球温暖化のしくみや二酸化炭素の削減方法について学び、カーボンニュートラルを身近なこととして取り組める人材を育成しています。

近年の厳しい猛暑の中、この夏は本市で気温40度を観測するなど、熱中症の危険性が高まっています。6月から9月までの期間、市内15の公共施設をクーリングシェルターとして指定し、危険な暑さから市民等が

一時的に避難できる場所を提供しています。

本市では三国橋付近から見た花火大会の風景を描いたご当地マンホールを設置しており、この度、当デザインのマンホールカード 3,800 枚を観光案内所で配布したところ、北海道から大分県まで多くの方にお越しいただきました。引き続き、楽しみながら下水道への理解や関心を深めていただけるよう、啓発活動に取り組むとともに、古河市の知名度向上にもつなげていきます。

## 6 都市基盤について

古河駅東部土地区画整理事業地内では、北側大街区で整備が進む複合商業施設のオープンがいよいよ近づいてきました。「カインズ」、「ヨークベニマル」、「スターバックス」及び「無印良品」が来月から順次オープンしますので、新しい賑わい拠点が形成されるものと期待しています。また、ハローワーク及び労働基準監督署が入居する古河労働総合庁舎が、令和 7 年度の開庁を目指して工事が進められています。今後移転する古河警察署も含め、行政機能の拠点エリアとなりますので、市においても引き続き周辺整備を進めます。

東北新幹線東側の国道 354 号と思案橋通りを南北に結ぶ幹線道路について、8 月 6 日に供用開始しました。利便性向上や経済活性化はもちろんのこと、安全で災害に強いまちづくりに向け、道路交通網の整備を進めます。

都市計画道路については、社会情勢の変化に対応するため、令和 2 年度から見直しを進めています。7 月 29 日と 31 日には、素案について住民説明会を行いました。今後、令和 7 年度の都市計画決定を目指し手続き

を進めます。

現在、古河公方公園でカキツバタ園の整備を進めており、来年には春の花桃に続く初夏の風物詩として来場者を魅了できるものと期待しています。また、サンワ設計ネーブルパークでは、来年度からの利用開始に向け、サウナ設置やキャビンのリノベーションを進めています。三和ふるさとの森においても、東屋の修繕等を行い、利用者が快適に利用できる環境を整備しています。市が誇るこれらの公園について、市民の憩いの場としての魅力向上とともに、来訪者の増加による地域活性化を図ります。

## 7 行財政について

フロントヤード改革の第一歩として、市民総合窓口業務の一部を民間委託してから約3か月が経過し、日々事業者と共に改善に取り組みながら、質の高い市民サービスの提供に努めています。また、効率的で利便性の高い窓口運営に向け、窓口発券機の導入を進めています。これらの取組をしっかりと検証し、全庁的なフロントヤード改革を進めていきます。

今月から市民総合窓口課や古河歴史博物館等の10か所で、キャッシュレス決済が可能となりました。今後も市民の利便性向上に向け、地域のDXを推進します。

ネーミングライツについては、8月1日から「共和電設とねミドリ館」が新たに加わり、20施設で導入しています。また、「古河市イーエス中央運動公園」及び「サンワ設計ネーブルパーク」においては、契約を更新いただきました。市の財源確保とともに、愛称によって市民に一層の親しみを持ってもらえるよう取り組んでいきます。



7月11日に県西地域総合振興協議会会長として「令和7年度県西地域の振興に関する要望書」を知事に提出しました。本市からも未来産業用地開発事業や企業誘致等への支援を要望しており、県の支援及び協力を得ながら、地域課題の解決を図っていきます。

以上、現在実施している事業等についてご報告させていただきました。

### (むすびに)

来年9月は合併20年の節目を迎えます。合併後のこれまでの歩みを振り返ると、地域経済の活性化や新たなまちづくりに取り組んだことで、市内の均衡ある発展や、市民の一体感の醸成が成し遂げられたものと考えております。また、私が市政の舵取りを担わせていただいたこの8年間では、保育所待機児童ゼロの達成、学校給食費の無償化及び先進的なICT教育の導入等、特に子育て・教育分野において大きな成果をあげました。これからも子育て支援やブランド戦略、さらには産業政策などを力強く推進することで、古河市で育ったこどもたちが、故郷への愛着を持ち、古河市へ住み続けたい、古河市で働きたいと思えるようなまちづくりを行い、『輝く古河市』の実現に取り組んでまいりたい所存です。

議員各位をはじめ、市民の皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和6年9月4日

古河市長 針 谷 力